

登録No. S-008
 登録名 MTX/5-FU療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 胃癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	KN3号 7%炭酸水素Na注	500mL/body 40mL/body		d1	d.i.v.	3hr	主管 テキサゾロンと同時に開始
Rp.2	デキサメタゾン 生食	6.6mg/body 50mL/body		d1	d.i.v.	30min	側管 KN3号+MTXと同時に開始
Rp.3	アセタゾラミド 蒸留水	250mg/body 20mL/body		d1	i.v.		側管 テキサゾロン終了後i.v.
Rp.4	メトトレキサート 生食	100mg/m ² 20mL/body		d1	i.v.		側管 アセタゾラミド 終了後i.v.
Rp.5	5-FU 生食	600mg/m ² 50mL/body		d1	d.i.v.	全開	主管 KN3号+炭酸水素Na注終了後開始
Rp.6	KN3号	500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	主管 外来では無し
Rp.7	アセタゾラミド 蒸留水	250mg/body 20mL/body		d1	i.v.		側管 KN3号終了後
Rp.8	ホリナートCa錠	15mg/回 /body		d2・3	p.o.	6時間毎8 回投与	メトトレキサート投与24時間後より服用開始

1クルールの期間 1 or 2週間
 その他（副作用・PS規定等）

外来時はRp.6 KN3号は無し
 入院1回/週、外来・副作用発現時1回/2週
 副作用：消化器症状(悪心・嘔吐・下痢)、骨髄抑制、口内炎など
 副作用が許容範囲内であればPDになるまで続ける。
 PS2までの症例